

令和7年度 入学者選抜学力試験問題
聖徳大学／聖徳大学短期大学部
出題意図

大学・短期大学

一般選抜

「国語」

本科目では、高等学校学習指導要領（平成30年告示）の「現代の国語」「言語文化（近代以降の文章）」を出題範囲とし、高等学校での学習を前提とした語彙力、文章読解力、文章表現力が身に付いているかを問うものとします。

なお、一部、教科書の「発展」や「参考」レベルの内容を問うことがあります。また、文学部文学科については、「現代の国語」「言語文化」を出題範囲とし、古典については古文を選択制で出題します。重要古語、基礎的な古典文法、文学史等を理解しているか、全体の内容を把握しているかを問うものとします。

「英語」

本科目では、高等学校学習指導要領（平成30年告示）の「英語コミュニケーション」「論理・表現Ⅰ」「英語コミュニケーションⅡ」を出題範囲とし、高等学校での学習を前提とした語彙力、文法の知識、読解力、論理的に適切な表現力等が身に付いているかを問うものとします。

なお、一部、教科書の「発展」や「参考」レベルの内容等を問うことがあります。

「数学Ⅰ，数学A」

本科目では、高等学校学習指導要領（平成30年告示）の「数学Ⅰ」「数学A」を出題範囲とし、高等学校での学習を前提とした計算力、論理的思考力が身に付いているかを問うものとします。

なお、一部、教科書の「発展」や「参考」レベルの内容を問うことがあります。

「日本史探究」

本科目では、高等学校学習指導要領（平成30年告示）の「日本史探究」を出題範囲とし、高等学校での学習を前提とした我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史との関連付け、事象の意味や意義、史資料の読解、および伝統と文化の特色などの理解が身に付いているかを問うものとします。

なお、一部、教科書の「発展」や「参考」レベルの内容を問うことがあります。

「世界史探究」

本科目では、高等学校学習指導要領（平成30年告示）の「世界史探究」を出題範囲とし、高等学校での学習を前提とした世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史との関連付け、事象の意味や意義、特色など多面的・多角的な理解が身に付いているかを問うものとします。

なお、一部、教科書の「発展」や「参考」レベルの内容を問うことがあります。

「化学基礎」

本科目では、高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）の「化学基礎」を出題範囲とし、高等学校での学習を前提とした物質とその変化に関する基本的な概念や原理・法則を活用する能力が身に付いているかを問うものとします。

なお、一部、教科書の「発展」や「参考」レベルの内容を問うことがあります。

「生物基礎」

本科目では、高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）の「生物基礎」を出題範囲とし、高等学校での学習を前提とした生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を活用する能力が身に付いているかを問うものとします。

なお、一部、教科書の「発展」や「参考」レベルの内容を問うことがあります。

「書道実技」

本科目では、入学後の大学での学習に対応できる表現に関する資質・能力が身に付いているかを問うものとします。

私費留学生特別入試 私費留学生特別奨学生入試

「化学基礎」および「生物基礎」

本科目では、高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）の「化学基礎」「生物基礎」を出題範囲とします。「化学基礎」においては、高等学校での学習を前提とした物質とその変化に関する基本的な概念や原理・法則を活用する能力が身に付いているかを問うものとします。「生物基礎」においては、高等学校での学習を前提とした生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を活用する能力が身に付いているかを問うものとします。

なお、一部、教科書の「発展」や「参考」レベルの内容を問うことがあります。

帰国子女特別入試

「英語」

本科目では、入学後の大学での学習に対応できる語彙力、文法の知識、読解力、論理的に適切な表現力等が身に付いているかを問うものとします。

社会人特別入試

「英語」

本科目では、入学後の大学での学習に対応できる語彙力、文法の知識、読解力、論理的に適切な表現力等が身に付いているかを問うものとします。

3年次編入学

「国語」

本科目では、編入後の大学での学習に対応できる語彙力、文章読解力、文章表現力が身に付いているかを問うものとします。

「英語」

本科目では、編入後の大学での学習に対応できる語彙力、文法の知識、読解力、論理的に適切な表現力等が身に付いているかを問うものとします。

「専門知識」（人間栄養学部人間栄養学科）

編入後の大学での学習に対応できる「化学」「生物」の知識、「食品科学」「栄養科学」分野の基礎的知識が身に付いているかを問うものとします。

専攻科

「小論文」

「医療保育」に関する基礎的知識が身に付いているかを問うものとします。

大学院

博士前期課程・修士課程

・児童学研究科 児童学専攻

「専門知識」

「子ども」の各領域（「教育」「保健」「福祉」「文化」「心理」「保育」とし、志願者の研究領域を含む3領域を選択。）に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「小論文」

「子ども」に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

・臨床心理学研究科 臨床心理学専攻

「外国語」

心理学に関する英語の文献を理解できる基本的な能力が身に付いているかを問うものとします。

「専門科目」

「基礎心理学」「臨床心理学」領域に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

・言語文化研究科 日本文化専攻

「専門知識」

日本の「文化」「文学」「言語」領域に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「小論文」

「言語文化（文化・文学・言語）」に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

・言語文化研究科 英米文化専攻

「専門知識」

英米の「文化」「文学」「言語」領域に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「小論文」

「言語文化（文化・文学・言語）」に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

・人間栄養学研究科 人間栄養学専攻

「外国語」

英語の文献を理解できる基本的な語学力、「食物」「栄養」領域に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「専門科目」

管理栄養士教育の全分野に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

・看護学研究科

「専門知識1」

看護全般に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「専門知識2」

研究領域（「看護教育学」「看護管理学」「成人看護学」「老年看護学」「母子看護学」「精神看護学」「地域看護学」とし、志願者が第1志望、第2志望を選択。）に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

・音楽文化研究科 音楽表現専攻

作曲・理論コース

「音楽理論試験」

和声・対位法に関する「西洋音楽書式実技」を実施し、音楽理論に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「西洋音楽史」

「古代から現代までの西洋音楽史」に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「小論文」

「音楽文化（作曲）」に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

声楽コース

「西洋音楽史」

「古代から現代までの西洋音楽史」に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「小論文」

「音楽文化（演奏表現）」に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

器楽コース

「西洋音楽史」

「古代から現代までの西洋音楽史」に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「小論文」

「音楽文化（演奏表現）」に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

・音楽文化研究科 音楽教育専攻 音楽教育コース

「外国語」

英語の文献を理解できる基本的な語学力、「音楽教育」領域に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「小論文」

「音楽教育」に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

「専門知識」

「音楽教育」に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

音楽研究コース

「外国語」

英語の文献を理解できる基本的な語学力、広く音楽の領域に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「小論文」

「音楽全般」に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

「専門知識」

音楽全般に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

音楽療法コース

「外国語」

英語の文献を理解できる基本的な語学力、「音楽療法」領域に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「小論文」

「音楽療法」に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

「専門知識」

「音楽療法」に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

博士後期課程

・ 児童学研究科 児童学専攻

「外国語」

児童学の各領域（「教育（教科内容学を含む。）」「発達」「保健」「福祉」「文化」「保育（保育マネジメントを含む。）」とし、志願者の研究領域を選択。）に関する英語の文献を正確に理解できる能力が身に付いているかを問うものとします。

「専門科目」

研究領域に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

・ 臨床心理学研究科 臨床心理学専攻

「外国語」

心理学に関する英語の文献を正確に理解できる能力が身に付いているかを問うものとします。

「専門科目」

研究領域に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

・ 言語文化研究科 日本文化専攻

「外国語」

日本文化（文化・文学・言語）に関する外国語（英語、日本語、中国語、中国古典文とし、志願者が選択。但し、志願者が母語とする言語は選択不可。）の文献を正確に理解できる能力が身に付いているかを問うものとします。

「専門科目」

専攻領域に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

・ 言語文化研究科 英米文化専攻

「外国語」

英米文化（文化、文学、言語）に関する英語の文献を正確に理解できる能力が身に付いているかを問うものとします。

「専門科目」

専攻領域に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

・人間栄養学研究科 人間栄養学専攻

「外国語」

英語の文献を理解できる語学力、「食物」「栄養」領域に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

「専門科目」

管理栄養士教育の全分野に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

・音楽文化研究科 音楽専攻

「音楽理論試験」(専門分野：作曲のみ)

和声・対位法に関する「西洋音楽書式実技」を実施し、音楽理論に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

「外国語」

音楽に関する英語の文献を理解できる能力が身に付いているかを問うものとします。

「小論文」

専門分野に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

「専門知識」

専門分野に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

専門職学位課程

- ・教職研究科 教職実践専攻
幼児教育コース

「専門知識」

幼児教育を中心とする教職教育に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「小論文」

「幼児教育」に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

児童教育コース

「専門知識」

小学校段階の教育を中心とする教職教育に関する基本的知識が身に付いているかを問うものとします。

「小論文」

「小学校段階の教育」に関する知識が身に付いているかを問うものとします。

以上